

今、何の病気が流行しているか！

【感染症発生動向調査事業から】



KAWASAKI CITY

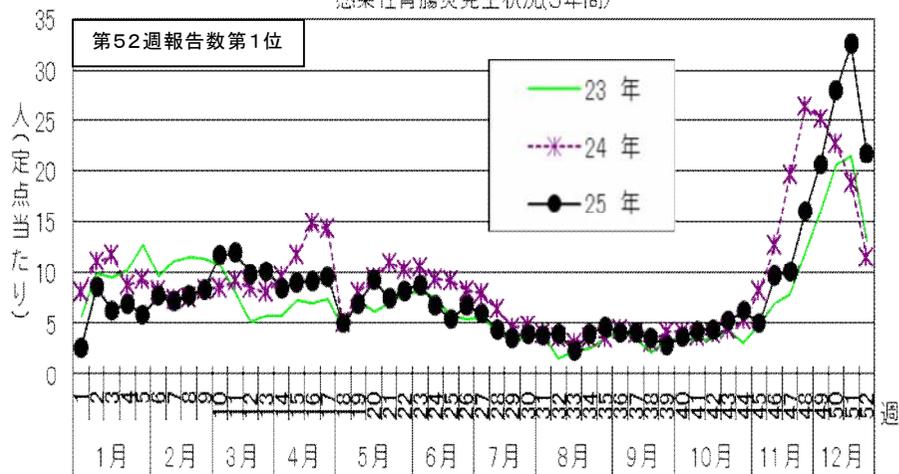
平成25年12月23日(月)～12月29日(日)〔平成25年第52週〕の感染症発生状況

第52週で定点当たり報告数の多かった疾病は、1)感染性胃腸炎 2)インフルエンザ 3)A群溶血性レンサ球菌咽頭炎 でした。
 感染性胃腸炎は定点当たり21.76人と前週(32.61)より患者報告数は減少しましたが、流行発生警報基準値(定点当たり20人)を超えています。

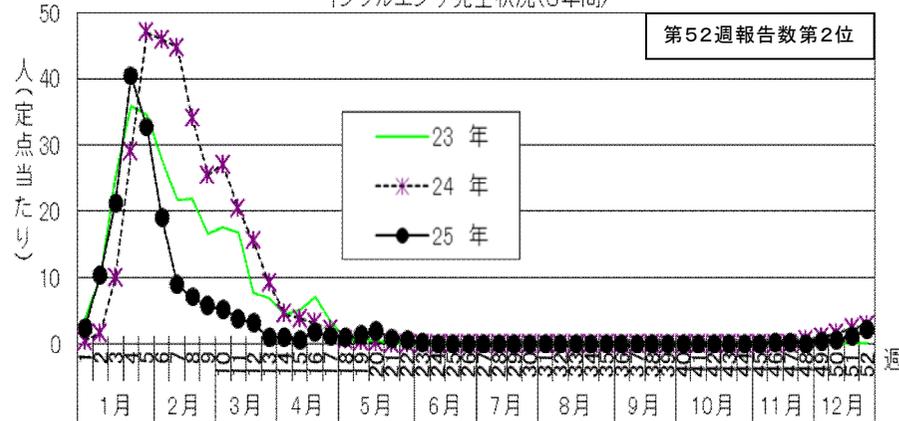
インフルエンザは定点当たり2.13人と前週(1.17)より患者報告数は増加しており、今後の発生動向に注意が必要です。また、第52週には4件の検体が本市健康安全研究所へ搬入され、インフルエンザウイルス AH1pdm09 が2件、AH3 が1件、B型山形系統株が1件検出されました。



感染性胃腸炎発生状況(3年間)



インフルエンザ発生状況(3年間)



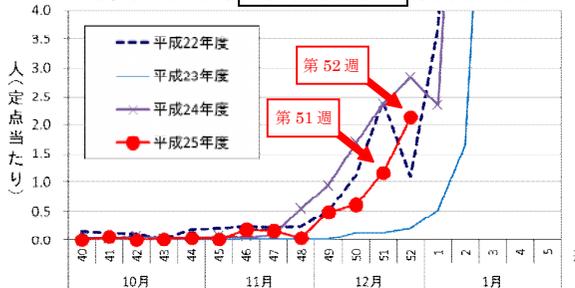
高熱をともなう疾患にご注意ください！！

川崎市では、年末から「インフルエンザ」の流行が始まりましたが、今シーズンはインフルエンザに加えて、夏に流行することの多い「咽頭結膜熱」も例年以上に患者報告数が多くなっています。

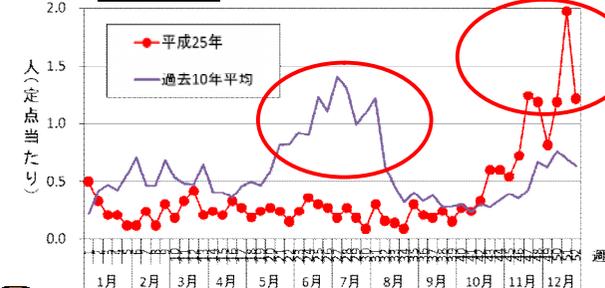
どちらの疾患も、高熱、頭痛や倦怠感など共通の症状が多く、乳幼児や高齢者では重症化することもあるため、注意が必要です。これらの疾患を鑑別するためにも、早めに医療機関を受診し、適切な治療を受けましょう。



現時点までのインフルエンザの流行状況



咽頭結膜熱の流行状況(過去10年平均との比較)



現在、インフルエンザの患者報告数が増加傾向にあり、今後本格的に流行する可能性があります。手洗いや咳エチケットなどを心がけ、予防接種を受けていない方は早めに検討しましょう。



咽頭結膜熱は「プール熱」と呼ばれ、夏風邪の一種とされていますが、近年は冬場に流行する傾向にあり、今年は10月以降に患者報告数が増えています。予防には、インフルエンザと同様に手洗いが重要です。